

## 令和2年度の事業

### 法人標語

『あなた方は皆、心をひとつにし、兄弟愛をもち、謙遜でありなさい』

－ ペテロの手紙 第一 第3章 8節 －

## 1. 主な事業

### (1) 法人運営の健全化

#### ① 事業の廃止について

- ・ 就労継続支援A型事業所つばさA型は、平成18年の開所から経営難が続き、これまで経営改善のため、調理工程の工夫や人員削減、新規企業の開拓や職員割引の導入などあらゆる取り組みを行ってきた。令和元年度からは就労系事業所連絡会を立ち上げ、これまでの取り組みや今後の見通しについて協議・検討を重ねてきたが、これ以上の経営改善は見込めず、事業継続は困難との判断し、令和2年12月末をもってひかり弁当の販売を終了し、年度途中から開始した法人内グループホームへの配食事業も、令和3年3月末をもって終了した。カフェ晴レル家は、やさいの直売所を運営している就労継続支援B型事業所かがやきにて、これまで通りカフェとしての営業を継続する。なお、令和2年4月1日に在籍していた利用者13名は、一般就労や他の福祉サービスの利用など丁寧な調整を進め、令和3年3月末をもって事業所を閉鎖とした。

＊一般就労 5名（法人内4名、法人外1名）

＊A型事業所 3名（法人外）

＊B型事業所 2名（法人外）

＊移行支援事業所1名（法人外）

＊その他 2名

- ・ ホームヘルプステーションシャロームは、平成15年の開所から、人材（ヘルパー）確保が進まないことからの安定した事業運営が出来ず、令和2年3月末をもって介護保険事業を廃止し、それ以降も課題解決の見通しがたたないことから、令和3年度に法人将来ビジョン策定検討会内に設置した「ホームヘルプステーションシャローム・はまゆう・シーズの事業再編に伴う検討会」において検討を重ねてきたが、令和3年1月末までに地域利用者（12名）を他の事業所へ移行調整し、法人内利用者（57名）は、令和3年3月末までホームヘルプステーションシャロームの登録ヘルパーがサービスを提供し、4月以降は、他の事業所への移行調整及びシーズ世話人等によるサービスを提供することとした。なお、登録ヘルパー（13名）については、個別面談を行い7名がシーズ世話人や法人内パート職員として再契約し、令和3年3月末をもって事業所を閉鎖とした。
- ・ 平成18年度に開設した移送介護事業部は、ホームヘルプステーションシャロームの閉鎖に併せ、令和3年3月末をもって事業終了とした。

## ②短期・中長期計画の策定

- ・これまでに「第一次検討会委員会」や「第二次将来構想検討委員会」などを設置し、様々な視点による法人の将来ビジョンについて協議してきたが、利用者の高齢化や障がいの重度化によるミスマッチから、利用者の減少による収入減や報酬単価や障害福祉制度の改正等により、法人の財務状況が著しく悪化したことから、財政健全化をベースとした、利用者、職員、法人、地域の視点からの事業再編や改善、新たな福祉サービスの創設等を含めた短期・中長期計画の策定を目指すこととした。策定にあたっては、これまでの検討会の内容を継承しながら、計画策定を目的とした法人将来ビジョン策定検討会（法人本部事業係長を委員長とし、各事業所、法人本部14名で構成）を設置し、検討会内に多様なワーキンググループや検討会を立ち上げ、財務体質の強化、地域から求められる法人事業を実施するために、法人の基本理念、基本方針に沿い、「障がい児者を中心とした事業」を基軸とする方向性を定め、他の社会福祉施設や事業、関係機関等と連携を図るとともに、「アクションプラン2020」の経営原則及び基本姿勢を職員一人ひとりが理解・実践することを目指した実現可能な短期（3年）及び中長期計画（10年）を策定した。なお、計画の策定には、施設長会、施設運営連絡会、理事会、評議員会等において協議・検討を行った。

＊令和2年10月22日 理事会 第1号議案「法人将来ビジョン」

＊令和3年 1月19日 理事会 その他「法人将来ビジョン中間報告」

＊令和3年 3月10日 理事会 第7号議案「短期・中長期計画」

- ・ホームヘルプステーション・はまゆう・シーズの事業再編に伴う検討会（法人本部事務局長を委員長とし、関係事業所、法人本部11名で構成）では、ホームヘルプステーションシャロームの閉鎖に伴う利用者の移行調整、はまゆうのグループホーム化（令和3年9月）について検討した。なお、はまゆうのグループホーム化の準備のため、令和3年3月29日に平下平窪字熊ヶ平6番地を分筆した。

＊はまぎく荘 熊ヶ平6番地（変更なし）

＊はまゆう 熊ヶ平6番地3

＊はまぎく荘体育館 熊ヶ平6番地4（みはま体育館）

＊その他の所有地 熊ヶ平6番地5

- ・みそのホーム跡地利用検討会（ポポロ所長を委員長とし、各生活介護事業所、法人本部7名で構成）において、生活介護事業所ポポロの従たる事業所の設置を計画し、その準備のために、みそのホーム（平下平窪二丁目4番地21）を解体し更地にした。なお、令和3年度に社会福祉施設等施設整備事業の申請を行う。
- ・就労系事業所多機能化検討会（つばさ所長を委員長とし、B型事業所、移行支援事業所、生活介護事業所、法人本部10名で構成）では、令和4年度が多機能化を目指し、令和3年度内に就労継続支援B型事業所かがやきの利用定員を30名、就労移行支援事業所つばさの利用定員を10名とした多機能化計画を定めた。
- ・相談支援事業所統合検討会（エデンの家所長を委員長とし、相談支援事業所、法

人本部7名で構成)では、相談体制の充実強化を図るため、令和4年9月に相談支援事業所タラントとエデンの家相談支援事業所の統合化計画を定めた。

- ・福島整肢療護園事業内容検討会(療護園副園長を委員長とし、療護園の各部門、法人本部等14名で構成)では、令和3年9月に福島整肢療護園の収支改善等をベースとした中期計画を策定するため、令和2年10月から毎月1回検討会を開催した。

## (2) 新型コロナウイルス感染症対策

- ・法人及び各事業所において、感染症対策マニュアル等の作成、日々の体温チェック、事業所内の消毒、面会の制限等、新型コロナウイルスの感染対策を徹底した。なお、緊急事態宣言期間等において、入所系事業所では、短期入所や生活介護の受入制限、通所事業所では、三密回避のための時間変更や送迎方法の変更、相談系事業所では、障がい児者支援センターエリコを活用して三密を回避するなど、それぞれの事業形態に応じた対策を講じた。
- ・危機管理委員会及びBCP策定検討会等が連携し、新型コロナウイルス感染症における特別休暇や入所系事業所への応援体制の仕組み等を構築した。

### ①新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業

- ・内容：障害福祉サービス施設・事業所等が新型コロナ感染症対策を徹底するための支援。
- ・法人申請額：26,081,000円

### ②新型コロナウイルス感染症小学校休業等対応助成金

- ・内容：新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、小学校等が臨時休業した場合等に、その小学校等に通う子の保護者である労働者の休職に伴う所得の減少に対応するため、正規雇用・非正規雇用を問わず、有給の休暇(年次有給休暇を除く)を取得させた企業に対する助成金。
- ・法人申請額：2,102,588円

## (3) 地域貢献活動と交流事業への取り組み

(社会福祉法人による地域における公益的な取り組み)

### ①生活困窮者等向け「ふれあいサロン」於：障がい者支援センターアシェル

- ・毎月第3土曜日(10時~15時)に定期開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、7月~12月の6回のみ開催となった。なお、ふれあいサロンには、11名が登録し延べ40名(前年度登録者9名、延べ参加者54名)の方が参加し、トランプやボードゲームなどで交流を深めた。なお、今後は地域の民生委員や生活・就労支援センター等と連携を図り、地域の隠れた福祉ニーズの把握等に努める。

### ②福祉体験ツアー

### ③ポポロふれあい交流会

#### ④あじさい会会食会

- ・上記3事業(②～④)は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

#### (4) 人材育成(研修)

##### ①利用者の権利擁護の視点からの取り組みについて

- ・利用者支援の向上を目的にサビ管連絡会(シーズ支援課長を委員長とし、各事業所のサービス管理責任者など10名で構成)のバックアップのもと、虐待事案が発生した就労継続支援B型事業所かがやきにおいて、本人中心支援の在り方等について、グループワーク等を含めた研修を4回開催した。なお、令和3年度は、福島整肢療護園において研修を行う。
- ・定期的な苦情解決部会(コアメンバーは福島整肢療護園事務部長を部会長とし、所長など4名で構成、部会は苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員(3名)など33名で構成)の開催により、苦情の検証や改善策の検討を行った。また、各事業所において、虐待防止チェックリストを実施(月1回)するなど、職員一人ひとりが自己評価を行い、利用者の人権を尊重した支援を事業所全体で取り組めるよう努めた。

##### ②新採用職員研修の通年実施について

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、当初の計画からは大きく変更となったが、接遇マナーや感染症対策に関する研修を開催し、新採用職員のスキルアップ等、人材育成に努めた。

#### (5) 法人理念の継承

##### ①法人70周年記念事業について

- ・予定していた祝賀会は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止としたが、理事長を中心とした「法人70周年記念誌作成委員会」を設置し、法人が歩んできた平成から令和までの約30年を中心とした法人70周年の記念誌を発行する予定である。

##### ②『聖書を通して福祉を学ぶ会』の実施について

- ・法人理念の更なる理解のために、いわき市内各教会牧師先生の協力を得て、3ヵ月毎に定例の会を実施(法人礼拝堂「友愛記念館」)予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止とした。

#### (6) 障がい児者支援センター「エリコ」の活用について

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、地域貢献の一環とした地域住民への会場の貸し出しは中止としたが、法人委員会等の会議、各種研修、事業所の活動場所として活用している。

## 2. 主な受託事業

### (1) 発達障害者就労・生活支援機能強化事業（いわき市より受託）

目的：療育手帳又は精神障がい者保健福祉手帳を有しない発達障がい又は発達障がいの疑いのある方への相談に対応するために、専任の職員を配置し必要な情報や助言その他の障がい福祉サービスの利用の支援を行う。

受託施設：いわき障害者就業・生活支援センター

### (2) 精神障がい者向け訓練実施支援事業（福島県より受託）

目的：精神障がい者の就労支援の一環として実施する事業で、訓練計画の作成から訓練受託企業の開拓等を関係機関・コーディネーター・ジョブコーチと連携しながら進める。

受託施設：いわき障害者就業・生活支援センター

### (3) 障害児(者)地域療育支援事業(いわき市より受託)

目的：在宅心身障がい児者に対して、ライフステージに応じた支援をするため巡回相談、訪問健康診断等により療育機能の充実を図り、障がい児者及びその家族の福祉の向上を目的とする。

受託施設：福島整肢療護園

### (4) いわき市児童発達支援センター地域支援機能強化事業（いわき市より受託）

目的：在宅障がい児者及びその家族に対して、療育相談や他の障害児通所支援事業所への支援方法の技術的指導、在宅障がい児が気軽に利用出来る場所の提供などを行い地域の親同士の交流などの地域支援を目的とする。

受託施設：エデンの家

### (5) 就労準備支援事業(いわき市より受託)

目的：生活困窮者及び生活保護者を対象に、一般就労に向けた準備として、ビジネスマナーや屋内外作業・面談等を実施し、日常生活・社会生活・就労の自立を目指す。

受託施設：つばさ(就労移行)

## 3. 施設整備関係

### ○ 国・県・市補助金等による事業

#### (1) 事業名：受水槽設置工事

実施施設：カナン村

補助者：社会福祉施設等施設整備費国庫補助

事業費：総事業費 22,550,000円

補助金 21,422,000円

自己資金 1,128,000円

事業完了：令和2年10月15日

○ 民間資金補助金等による事業

- (1) 事業名：資器材の購入支援（令和元年東日本台風被災による復興支援）

実施施設：ポポロ

補助者：認定NPO法人 難民を助ける会（AAR Japan）

事業費：総事業費 6,563,040円（全額補助）

（福祉車両） 4,267,440円

（オープン） 2,295,600円

事業完了：令和2年8月18日

○ 自己資金による主な事業

- (1) 事業名：通所ハウス改修工事

実施施設：カナン村

事業費：2,500,000円

事業完了：令和2年6月16日

- (2) 事業名：所長公舎改修工事

実施施設：はまなす荘

事業費：17,270,000円

事業完了：令和2年8月4日

- (3) 事業名：財務会計システム更新

実施施設：法人本部

事業費：5,324,000円

事業完了：令和2年10月30日

- (4) 事業名：利用者支援記録システム更新

実施施設：かがやき

事業費：2,310,000円

事業完了：令和2年11月1日

- (5) 事業名：渡り廊下エアコン取付工事

実施施設：福島整肢療護園

事業費：2,398,000円

事業完了：令和2年11月15日

- (6) 事業名：空調設備改修工事(2期)

実施施設：光の家

事業費：10,373,000円

事業完了：令和2年11月30日

- (7) 事業名：みそのホーム解体工事

実施施設：法人本部

事業費：4,070,000円

事業完了：令和3年3月31日

#### 4. 理事会、評議員会開催状況

##### (1) 理事会

期 日：令和2年6月8日

協議事項：令和2年度補正予算について

平成31年度(令和元年度)事業報告書並びに収入支出決算書について

平成31年度(令和元年度)決算報告及び監査報告について

諸規程の一部改正について

土地・建物の寄贈申込みについて

会計監査人の選任(契約)について

定時評議員会の招集事項について

出席者：理事7名中6名出席

##### (2) 定時評議員会

期 日：令和2年6月24日

協議事項：令和2年度補正予算について

平成31年度(令和元年度)事業報告書並びに収入支出決算書について

平成31年度(令和元年度)決算報告及び監査報告について

会計監査人の選任について

出席者：評議員8名中7名出席

##### (3) 理事会

期 日：令和2年6月29日

協議事項：職員の懲戒について

出席者：理事7名中6名出席

##### (4) 理事会

期 日：令和2年9月17日

報告事項：理事長の職務執行状況について

協議事項：令和2年度収支補正予算書について

諸規程の一部改正について

評議員会の招集事項について

出席者：理事6名中6名出席

##### (5) 評議員会

期 日：令和2年9月30日

協議事項：令和2年度収支補正予算書について

出席者：評議員8名中8名出席

##### (6) 理事会

期 日：令和2年10月22日

協議事項：法人将来ビジョンについて

出席者：理事6名中6名出席

##### (7) 理事会

期 日：令和3年1月19日

協議事項：令和2年度収支補正予算書について  
諸規程の一部改正について  
基本財産処分承認申請について  
補助事業について  
評議員会の招集事項について  
人事について

出席者：理事6名中6名出席

(8) 評議員会

期 日：令和3年1月27日

協議事項：令和2年度収支補正予算書について  
基本財産処分承認申請について

出席者：評議員8名中6名出席

(9) 理事会

期 日：令和3年3月16日

報告事項：理事長の職務執行状況について

協議事項：令和2年度収支補正予算書について  
令和3年度事業計画書(案)について  
令和3年度収支予算書(案)について  
定款変更について  
諸規程の一部改正について  
評議員会の招集事項について  
法人短期・中長期計画について  
人事について

出席者：理事6名中6名出席

(10) 評議員会

期 日：令和3年3月24日

協議事項：令和2年度収支補正予算書について  
令和3年度事業計画書(案)について  
令和3年度収支予算書(案)について  
定款変更について

出席者：評議員8名中6名出席

\*理事会・評議員会の提出議案は、すべて原案通り承認を得た。



## 5. 令和2年度の主な行事

4	1	辞令交付式
	7	NHKより取材(ポポロ復興について)
	13	公認会計士期末監査 日本フリーメソジスト平キリスト教会代表役員植田直也牧師が来訪し、平キリスト教会(現アシェル)土地と建物(旧牧師館)について、当法人に無償譲渡する旨の覚書を持参する
	22	臨時施設長会(新型コロナ対策について)
5	3	公認会計士期末監査(~4日)
	7	内部経理監査(~8日、11日~12日)
	13	監事監査(~15日、19日)
	22	故大河内一郎先生追悼祈念会(シオンの丘)
	25	公認会計士期末監査(~26日)
	29	いわき福祉懇話会総会(誠心会/理事長)
6	2	法人創立記念日、役職員表彰式
	8	理事会
	19	いわき福祉懇話会役員会(誠心会/理事長) 新採用職員研修会(理事長/局長) *新型コロナ対応のため、例年より時期を遅らせ分散開催とする
	22	臨時施設長会(虐待事案について)
	24	定時評議員会
	26	県経営協理事会(郡山市/理事長)
	29	臨時理事会
7	1	辞令交付式(会計担当異動職員)
	4	宇佐美忠一理事ご逝去
	8	宇佐美忠一理事葬儀告別式(ラポール平/理事長他)
	10	いわき障害者就業・生活支援センター労働局監査
	13	いわき市特別監査(かがやき)
	14	いわき市特別監査(野の花ホーム)
	17	新採用職員研修会(理事長/局長)
	30	苦情解決部会
8	7	いわき市指導監査(小島保育園)
	18	AAR Japan 難民を助ける会より、ポポロに福祉車両と大型オープンが寄贈される
	21	新採用職員研修会(定例1回目)
	27	公認会計士期中監査(~28日) 公認会計士理事者ディスカッション(理事長・監事他)
9	17	理事会
	18	新採用職員研修会(定例2回目)
	29	市内牧師交流会(エリコ/理事長)
	30	評議員会

10	3 11 16 21 22 28 29	小島保育園運動会(平体育館/理事長) 台風19号被災に伴う現地調査及び防災説明会(被災箇所・下平窪公民館/理事長) 新採用職員研修会(定例3回目) 障がい者雇用に関する研修会(エリコ/オンライン) 理事会 苦情解決部会 福島県社会福祉大会(喜多方市) いわき市特別監査(~30日/福島整肢療護園)
11	10 16 18 19 20 25 28	法人施設・事業所事業計画ヒアリング開始 日本フリーメソジスト教団大嶋博道理事長他来訪 いわき市総合社会福祉大会新型コロナを考慮して中止となる 福島県指導監査(福島整肢療護園) *エデンの家は書面監査(新型コロナを考慮) 新採用職員研修会(定例4回目) 平窪3区長との懇談会(理事長・局長・海野部長・草野係長) いわき市より、農福連携について現地視察(かがやきハウス) 下平窪自主防災会全体会議(下平窪公民館/理事長・金野所長)
12	10 12 17 23	新型コロナ陽性者発生事例動画視聴会(~11日/エリコ) いわき市民クリスマス(パレスいわや) 公認会計士期中監査(~18日) クレハ労働組合より寄附金贈呈式(勿来支所長室/理事長・佐々木所長)
1	4 13 18 19 21 27 28	法人新年の集い(エリコ) 下平窪防災マップ打合せ(平窪公民館/理事長他) 新型コロナ入所施設関係打合せ 理事会 福島県次世代育成認証企業訪問審査(本部) 評議員会 苦情解決部会
2	3 5 8 10 12 19 25 27	ポポロ従たる事業所の設計打合せが開始する(高木設計) 正職員登用試験(筆記) 社会福祉法人会計実務者決算講座(エリコ/オンライン研修) 正職員登用試験(12日/面接) 東日本大震災から10年を経て、朝日新聞より取材を受ける(理事長) 新採用職員研修会(定例5回目) 県経営協理事会(オンライン開催/理事長) 社労士による労務管理勉強会 下平窪自主防災会全体会議(下平窪公民館/理事長・高木所長)
3	5 12 16 18 24 26 29 31	日本経営セミナー(エリコ/オンライン研修) 新採用職員オリエンテーションⅠ 理事会(終了後、退職施設長感謝状授与式) 新採用職員オリエンテーションⅡ 評議員会 管理者事務引継ぎ(野の花・エデン・かがやき) 公認会計士期中監査(~31日) 退職辞令交付式 就労継続支援A型事業所つばさA型、居宅介護事業所及び移動支援事業所ホームヘルプステーションシャロームを廃止する

## 6. 法人職員研修会(法人研修委員会主催)

- (1) 新採用職員研修会(法人設立の目的と役割)、(いわき福音協会の事業と現状)  
開催日：令和2年6月19日(金)  
講師：理事長、局長  
会場：障がい児者支援センターエリコ  
出席者：15名
- (2) 新採用職員研修会(法人設立の目的と役割)、(いわき福音協会の事業と現状)  
開催日：令和2年7月17日(金)  
講師：理事長、局長  
会場：障がい児者支援センターエリコ  
出席者：15名
- (3) 定例新採用職員研修会(映像で法人の歴史に触れる)  
開催日：令和2年8月21日(金)  
映画：「光の歌」、「明日を待つ子供たち」  
会場：障がい児者支援センターエリコ  
出席者：24名
- (4) 定例新採用職員研修会(セキュリティについて)  
開催日：令和2年9月18日(金)  
講師：株式会社ヨシダ 菅野雄貴氏  
会場：障がい児者支援センターエリコ  
出席者：19名
- (5) 定例新採用職員研修会(接遇マナーについて)  
開催日：令和2年10月16日(金)  
講師：はまぎく荘主任支援員 川井敦史氏  
会場：障がい児者支援センターエリコ  
出席者：24名
- (6) 定例新採用職員研修会(感染症について)  
開催日：令和2年11月20日(金)  
講師：福島整肢療護園園長 渡邊信雄氏  
会場：障がい児者支援センターエリコ  
出席者：22名
- (7) 定例新採用職員研修会(一年間の研修を振り返る)  
開催日：令和3年2月19日(金)  
内容：感想文の提出  
会場：障がい児者支援センターエリコ  
出席者：22名

\*令和2年度は、新型コロナウイルスの感染状況と行政からの自粛要請等を勘案しながら、最低限の開催にとどめた。

## 7. 連絡会・委員会活動報告

### (1) 施設運営連絡会

理事長のもと各施設・事業所の施設長等が月初めに集まり、行事予定や法人全体・施設間の連絡調整及び運営について協議を行った。

### (2) 施設長会

理事長のもと各施設長が月1回集まり、運営や重要事項等について協議を行った。なお、令和2年度は、虐待事案対応や新型コロナウイルス感染症への対策について臨時施設長会を招集するなど対策本部的機能を果たした。

### (3) 経営会議

理事長のもとに事務局長、総務部長、総務係長、事業部係長が月1回集まり、法人の業務執行上における重要事項等について機動的・多面的に協議を行った。

### (4) 会計職員連絡会

本部及び各施設会計担当職員が月1回集まり、各種連絡や実務的な業務について協議を行った。

### (5) 広報委員会

広報活動においては、ホームページ・広報誌の更新・作成により手早く情報を公表した。また、法人パンフレットは、法人事業の再編等により作成は見送りとした。新型コロナウイルス感染症により研修等への参加は中止とした。

### (6) 研修委員会

新採用職員研修会は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発出により、予定が変更となったが、理事長・事務局長による「法人の設立等」「事業の現状等」、専門職の「医療」「接遇マナー」等の研修を実施し、法人職員としての知識を学ぶことが出来た。なお、一般職員向け研修は新型コロナウイルス感染症拡大防止により実施を見合わせた。

### (7) 危機管理委員会

新型コロナウイルス感染症感染防止対策及び感染者が出た場合等の取り組みについて、各事業所との情報交換、協議を実施した。10月には職員意識調査及び集計を実施し、11月には法人内の感染症に係る事業所間の応援体制のマニュアルの作成、12月には業務応援に係る意識調査及び集計を実施した。

\* 勤務継続可能職員 (166名/53%)

\* 入所系施設への業務応援可能職員 (116名/37%)

### (8) 栄養士連絡会

毎月1回晴レル家にて、各栄養士間の情報交換や食材価格の情報収集や「食事摂取基準のポイント」、「褥瘡と栄養管理」等について勉強会を行った。また、各核施設の給食における課題等を抽出、整理を行った。

### (9) 地域貢献委員会

対外活動が主である本委員会は、新型コロナの影響が大きく、福祉体験ツアーや出前講座、あじさい会会食会の開催は見合わせる事となった。ふれあいサロンは、情勢を確認しながら感染対策を徹底し、年間6回開催することが出来た。

(10) コアサビ管委員会

令和2年度は光の家と新人研修の予定であったが、新人研修は新型コロナウイルス感染症及び就労継続支援B型事業所かがやきにて虐待案件が発生したことから、予定を変更し、かがやきの職員に向けた「本人中心支援」を基本とした研修会を4回開催した。

(11) 就労系事業所連絡会

現状及び課題の共有を図り、その課題を解決することを目的に毎月1回連絡会を開催した。主な協議内容は、つばさA型事業所閉鎖の進捗確認、かがやきの事業内容の検討及び虐待事案の課題整理等を行った。(令和2年度をもって本連絡会は終了)

(12) 生活介護事業所連絡会

生活介護事業所における令和元年台風19号被害や新型コロナウイルス感染症対策についてのアンケート調査、法人内事業所(ポポロ・光の家)と法人外事業所(育成会)の視察し、災害対策やサービス向上、新たな活動内容等について意見交換を行った。

(13) 人事考課委員会

自己評価や考課者シートの内容変更等を行い、令和2年度から本格的に人事考課を開始した。令和2年度は、4月～9月までの半年間を考課期間とし、同年12月の賞与に反映(46名/21%)した。

(14) BCP策定検討会

法人事業継続計画(案)を策定した。更に障がい福祉課より、新型コロナウイルス感染症発生時に備えた業務継続計画の策定依頼に伴い、入所系、通所系、訪問系に沿った内容で業務継続計画を検討している。

(15) 法人将来ビジョン策定検討会

法人の財政健全化と併せて実現可能な事業再編を目的に、検討会内に3つのワーキンググループ、5つの事業検討会を設置するなど、定期的に協議・検討を重ね、社会福祉法人アクションプラン2020をベースとした短期・中長期計画を策定した。

\*権利擁護委員会、及び苦情解決部会、虐待防止部会、成年後見部会については別掲。

## 8. 表彰関係

(1) 令和2年度春の叙勲(令和2年6月1日 いわき地方振興局)

\*瑞宝単光章(1名)

伊藤美智子(小島保育園)

(2) 法人役職員表彰(令和2年6月2日 エリコ)

\*永年勤続表彰(施設職員5名)

小林かよ子、遠藤明子(福島整肢療護園)、泉 恵美(エデンの家)

長瀬眞美恵(シーズ)、飯田弘子(光の家)

(3) 第74回福島県社会福祉大会(令和2年10月29日 喜多方市)

新型コロナウイルス感染拡大に考慮し、規模を縮小して開催

\*知事感謝状(3名)

小林健男、田中真成、箱崎高子(カナン村)

\*大会会長表彰(12名)

川井敦史(はまぎく荘)、但野真希子、鈴木美千代(福島整肢療護園)

佐藤俊介(タラント)、蛭田由香里(就業)、細谷 泉(エデンの家)

佐々木千歩、坂本葉月(つばさ移行)、永山京介、夏見友和(はまなす荘)

会田真由美、草野正明(野の花ホーム)

(4) 令和2年度全国社会福祉大会(令和2年11月13日 東京都)

新型コロナウイルス感染拡大に考慮し、大会は中止

\*大会会長表彰(6名)

田中真成、箱崎高子(カナン村)、布施裕孝(野の花ホーム)

田中敦子(シャローム)、坂本友行(かがやき)、柴崎正明(福島整肢療護園)

(5) 第45回いわき市総合社会福祉大会(令和2年11月18日 アリオス)

新型コロナウイルス感染拡大に考慮し、規模を縮小して開催

\*大会会長表彰(20名)

大平ちあき(小島)、佐藤正子(つばさA型)、草野保子(はまゆう)、清水麻純

伊東ヨシ子、伊藤サダ子、池田信子、要田英子、渡部美佐子、大竹キミ子

齋 早苗、國井康代、村上富美子(シーズ)、佐藤拓馬(はまなす)、松崎永秀

(かがやき)、四家崇(エデン)、鈴木多喜子、大滝喜美子、渡邊弘美(療護園)

小野公平(本部)